

# 信楽園病院だより

第97号 平成21年4月1日 発行

〒950-2087 住所 新潟市西区新通南3丁目3番11号 Tel 025-260-8200

FAX 025-260-8199

E-mail [main@shinrakuen.com](mailto:main@shinrakuen.com) ホームページアドレス <http://www.shinrakuen.com>

## 院内感染防止活動を紹介します

感染対策委員会 稲波 千加子

今年もインフルエンザが紙面を賑わしました。感染症といえば、他にもMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）などの薬剤耐性菌、SARSやHIV、ノロウイルス等々耳にされることも多く、感染防止対策については皆様の関心も高いことと思います。

当院では効果的な感染防止対策を行うために、感染対策委員会（ICC）を設置しています。また実践チームとして、医師、看護師、薬剤師、検査技師をメンバーとした感染対策チーム（ICT）を結成し、活動しています。病棟には、現場と感染対策チーム（ICT）とのつなぎ役としてリンクナースを配置しています。

今回は、活動の中心である感染対策チーム（ICT）についてご紹介いたします。

### 「ICTの任務」・・・まず現場へ（どんな指摘にもみなさん前向きに応じてくれます。）

院内感染発生時には速やかに情報収集を行い、現場へ出向き重点的な防止対策を実施。部門を越えて活動しています。

定期的な院内巡回による監視も重要な任務です。「掃除は行き届いていますか」「オムツ交換の手順は正しいですか」「輸液セットの交換や清潔操作はできていますか」「抗菌剤の使用は適切ですか」など細部にわたってチェックが入ります。

病棟では感染防止の目的から、患者様の病状によってはお見舞いの生花を御遠慮いただく場合があります。それは、花瓶の水に緑膿菌やカビが発生しやすいためです。



〈点滴準備中〉

### 「リンクナースの声から」

お気づきでしょうか。当院ではユニフォームの上に、布製のエプロンや予防着をつけていません。必要な時のみビニールエプロンを使います。布製は水を通す素材であり、毎日交換しないと不潔であるという理由からです。このような提案も、現場にいるリンクナースから出されたことでした。

### 「手洗いを制するものが感染対策を制する。」しかしこれが最も難しい…。



〈手洗台中〉

毎年梅雨時期になると、サルモネラや毒素を発生させる大腸菌（O157 など）など、食中毒に注意が必要となります。これらは感染力が強いので大きな話題になりますが、対策はごく一般的な事です。肉類には十分に火を通す・冷蔵庫を過信しない・井戸水は沸かして飲む。そしてしつこいようですが、**何よりも手洗いです**。20秒から30秒かけて洗いますが、「ゾウさん」の唄を歌うとちょうどそのくらいです。みなさんも参考までにどうぞ♪♪